



聖徳大学

聖徳大学児童学研究所主催

第15回 子どもの発達シンポジウム

新型コロナウイルス感染症と 子どもの傷害予防

～とくに保育現場の安全・安心をどう保証するか～



定員
100名
(要事前申込)

参加費
無料



子どもの発達シンポジウムでは、「子どもの傷害予防(事故予防)」を一つの大きなテーマと考え、これまで2回取り上げてきました。最初は2012(平成24)年の第6回に「子どもの尊い命を自己から守るために今進められている試み」、そして2016(平成28)年の第10回では「子どもの事故の実態と防止策-国内外の取り組みについて-」をテーマとして開催しました。

2019年の終わりからの、中国武漢市での大流行に端を発した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によるパンデミックは、世界の様相を一変させてしまいました。子どもたちの育っていく環境も例外ではありません。

そんな時代だからこそ、**安全・安心な環境がより必要とされます。**

そこで第15回シンポジウムでは、保育現場で働きながら、ジャーナリストとしても活躍されている猪熊弘子氏、3回目の登壇となる小児科医の出口貴美子氏、聖徳大学教授の腰川一恵氏を講演者としてお招きして、三者三様の立場からお話しいただき、最後のパネルディスカッションにつなげます。

日時 令和3年2月6日(土)
13:00~17:00

開催方法 「Zoom」による
オンライン配信

申込方法 参加ご希望の方は、以下の申込フォームにアクセスの上、事前申込みをお願いします
申込期限：令和3年2月4日(木)
申込フォーム：<http://bit.ly/jidouken2020206>



お申込み後、ご登録いただいたメールアドレス宛にZoomのURL等ご案内のメールをお送りします。
また、以下のドメインからのメールを受信できるように設定をお願いします。@wa.seitoku.ac.jp
受付完了メールが届かない場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

主催：聖徳大学児童学研究所 協力：聖徳大学大学院児童学研究所、聖徳大学児童学部 後援：松戸市、松戸市教育委員会

講演

「子ども主体の保育と子どもの安全～日本と海外の安全の概念と子どもの権利から考える～」

猪熊 弘子 ジャーナリスト、名寄市立大学 特命教授、明福寺ルンビニー学園幼稚園・保育園 副園長

「あなたも子ども傷害予防のプロ『子ども安全管理士』になりませんか？」

出口 貴美子 出口小児科医院 院長、慶應義塾大学解剖学教室 講師(非常勤)、
日本大学医学部小児科 講師(非常勤)

「保育者・看護師の視点・実践から考える子どもの傷害予防」

腰川 一恵 聖徳大学児童学部児童学科 教授

パネルディスカッション

講演者3名と司会者として、新型コロナウイルス感染症パンデミック下での
子どもの傷害予防について議論を深めます。

お問い合わせ

聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話：047-365-1111 (大代表)

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>